

第22回サザンレク片添山口県知事杯ビーチバレー大会2015

大会競技規則

【共通】

1. 種目は、男子の部（2人制）、女子の部（2人制）、男女混合の部（4人制）とする。
2. コートは、16m×8mの広さである。
3. ネットの高さは、男子の部2.35m、女子の部2.24m、男女混合の部2.25m。
4. ボールはビーチバレー用を使用。
5. 各チームは、1回（30秒間）のタイムアウトが認められる。
6. 得点はサービス権に関係なく、味方のプレー動作によってラリーに打ち勝ったり、あるいは、相手競技者が犯した反則に審判が判定を下した場合である。（ラリーポイント制）
7. 両チームの得点合計が、5、10、15、20、25、30になるたびチェンジコートする。
8. 最初に15点（17点打ち切り）を得たチームが勝者になる。（1セットマッチ）
9. サービスは、エンドライン後方のフリーゾーン内から打たなければならない。
10. サービスは、主審の吹笛後5秒以内に行われ、試技は許されない。
11. チームは、ネットを境にして相手に打ち返すために、最大限3回プレーすることができる。
12. ボールは、明瞭に打たなければならない。接触中、明らかにボールが止まるようなプレーは反則。
13. 同一チームの二人の競技者が同時にボールに触れたときは、2回触れたものとみなされる。この場合、二人とも続けてそのボールに触れることができる。
14. 競技者は、どの位置にいてもボールを打った瞬間に、ボールの一部または全部が味方コート上空にあれば、どんなアタック・ヒットでも行うことができる。
15. ボールはネット上を通過するとき、ネットに触れてもよい。
16. その他のルールについては、日本バレー協会制定のビーチバレー2人制競技規則に準ずる。

【2人制】

1. チームにおける第1回目のプレーは、それがオーバーハンドで指先を用いたプレーでない限り、2箇所以上に連続して当たっても、一つの動作中であれば許される。但し、強打されたボールは有効。
2. サービスは1回で、サービス権を得た毎に交互に打たなければならない。
3. ブロックをした競技者が、そのボールを連続してプレーすることができる。（ブロックのプレーは、チームの一回のプレーとして数えられる。その後は更に2回のプレーができる。）
4. ティップ・プレー及び、オーバーハンド・パスで、両肩に対し直角でない方向にアタック・ヒットを完了したときは、アタック・ヒットの反則となります。但し、味方の競技者へボールをセットアップした場合は、例外とする。

【4人制】

1. チームにおける第1回目のプレーは、それがオーバーハンドで指先を用いたプレーであっても、2箇所以上に連続して当たっても、一つの動作中であれば許される。
2. サービスは1回で、サービス権を得た毎に男女交互に順番で行わなければならないが、男女どちらが先でも構わない。
3. ブロックプレーは、チームの一回のプレーとして数えず。その後は、更に3回のプレーができる。
4. ティップ・プレーは、ボールの接触が明瞭であり、つかんだり、投げたりしなければ許される。
また、オーバーハンド・パスで、両肩に対し直角でない方向にアタック・ヒットをしても反則としない。

※ 審判は原則として相互審判で実施するものとする。

また、各チームは、試合終了後直ちに、勝者は「主・副審」、敗者は「線審」をするものとする。

（混合の部については、勝者は「主・副審と得点係」、敗者は「線審とボール拾い」をするものとする。）

なお、各チームとも笛を用意して来てください。